

新型コロナウイルス（COVID-19）等による農業・食料分野への影響と動向 （2020年8月）

1. 国際的な動向

- FAOは7/14にWith/Post COVID-19において世界的な食料の緊急事態を防ぎ、また食料安全保障と栄養の中長期的開発に取り組むことを目的とした「新型コロナウイルス感染症対応・回復プログラム」を発表。このプログラムでは、7つの重点対応分野（人道支援、小規模農家のレジリエンス強化、フードシステム変革等）を定め、必要な初期投資のために12億ドルの資金要請を行っている。
<http://www.fao.org/japan/news/detail/jp/c/1300636/>
- WFPは8/13に2017-2019の各国の栄養不良人口を示した「Hunger Map 2020」を発表。この状況が続いた場合、2030年には慢性飢餓人口は8.4億人に達すると予測（図1）。
<https://www.wfp.org/publications/hunger-map-2020>

2. 農業生産の動向（2020年8月）

- 主要穀物（小麦、メイズ、コメ、大豆）の国際需給概況について、8月上旬発表の19/20年度生産予測は前回（7月2日）発表分と大きな変動はなく、2020年期末時点での主要穀物の予想値（FAO, USDA, ICGの平均）は、供給3,586百万トン、使用2,730百万トン、在庫853百万トン、期末在庫率（S/U）31.2%と引き続き高水準を維持。（AMIS Crop Monitor Database）

（1）サブサハラアフリカ地域の農業関連概況

- 農業生産については、エチオピア、ソマリアではサバクトビバッタとCOVID-19による春作（7月収穫）の収穫量への悪影響が報告されている。また、雨季作（7月開始）の作付け・生育は概ね順調だが、先月に引き続き東アフリカの半乾燥気候の農牧畜地帯でのサバクトビバッタへの警戒が必要（図2）。既にエチオピアとソマリアで作物被害（メイズ・ソルガム）が報告されている。西アフリカでは、モーリタニア、マリ、ニジェール、チャドで小規模な増殖が見られるが、東アフリカから飛来したものではなく例年見られるもの。状況は落ち着いているが、引き続き警戒が必要。（FAO Locust Watch, 24 August 2020）
- COVID-19による生産への影響（投入資材、労働力の供給）への懸念が先月より多くの国（エチオピア、スーダン、南スーダン、ブルキナファソ、チャド、ナイジェリア、リベリア、セネガル、シエラレオネ、ジンバブエ、レソト、コンゴ民）で指摘されている。（GEOGRAM Crop Monitor, August 2020）

(2) 南アジア地域の農業関連概況

- 殆どの国で良好な冬春作の収穫が報告されている。春夏作の作付け、生育についても概ね順調であるが、先月のネパール、パキスタンに加えてアフガニスタン、バングラデシュで COVID-19 対応の行動制限による投入資材の供給、適期作付けへの影響が報告されており、今後生産への影響に注視が必要。
- インド・パキスタン国境地帯のサバクトビバッタについては引き続き警戒が必要であるものの、大規模な防除活動が奏功し、被害の深刻化は報告されていない。警戒されたソマリアから大群飛来のリスクも軽減される見込み。

(GEOGRAM Crop Monitor, August 2020, FAO Locust Watch, 24 August 2020)

3. 食料価格の動向

(1) 主要穀物/肥料の国際取引価格

- 穀物の国際価格について、国際穀物理事会（IGC）国際取引価格指数は小麦、メイズ、大豆の価格上昇を受けやや上昇傾向であるものの、依然過去5年間で最低水準で推移（図3）。アフリカ向けのコメは、主要銘柄のうちパキスタン産が8%上昇したものの、その他は軒並み下落。特にタイ産は7%の大幅減。ベトナム産は1~2%の微減（図4）。
- エネルギー価格指数は前月比6.1%上昇。一方、農業関連指数はほぼ変わらず安定的に推移（図5）。内訳をみると、大豆（前月比+3.6%）、トウモロコシ（+3.1%）が上昇する一方、牛肉（-7.8%）、コメ（-7.7%）、カカオ（-5.7%）は下落するなど混在（図6）。

小麦	ヨーロッパと黒海沿岸地域の収穫量が不調であるが、国際価格は先月から横ばい。
メイズ	米国の収穫量が不調、かつ世界的に需要が伸びていることから価格が上昇している。
コメ	季節的な供給量の増大と特にタイ産米への軟調な需要によって価格は低下傾向。しかし、前年と比べると依然高い。
大豆	中国の需要増による米国産価格の上昇、及びブラジルでの供給量減少により国際価格が上昇している。

(単位：USD/mt)

	月平均 (2020/7)	四半期平均 (2020/5-7)	先月比	前年同月比
小麦	198.42	200.87	0.0%	1.1%
メイズ	152.55	148.15	3.1%	-19.5%
コメ	480.00	503.33	-7.7%	15.4%
大豆	381.07	369.35	3.6%	3.1%

(World Bank Commodity Markets August 2020)

(2) 各地域・各国の食料価格

- 過去1か月間の食料価格は、80%強の国で価格変動は3%未満に留まり概ね安定。10%以上上昇したのは6か国¹のみ（いずれも外的影響を受けやすい小国）。10%以上低下した国はなし。ただし、60%強の国で価格が上昇しており注視が必要。地域毎の顕著な傾向はみられず、国レベルで異なる動向を示している。
- 過去6か月間²では計59か国で10%以上食料価格が上昇（10%以上食料価格が低下した国はなし）。価格上昇は全地域に及ぶが、うち23か国³はサブサハラアフリカ。南アジアは2か国のみ。国際的な食料価格は低位で推移し作付け・収穫も順調であるものの、各国レベルでは食料生産体制が脆弱で輸入依存度の高い国を中心に、需給バランスの変化により価格上昇の傾向がうかがえる。
- 価格動向は収穫時期や各国政府の措置の影響が大きく、継続的なモニタリングが重要。食料価格は小農や都市貧困層など脆弱層を中心に大きな影響を与える点に特に留意が必要。（FAO Daily Food Prices Monitor Aug 28, 2020）

4. 農業・食料分野での措置

- アフリカ各国の措置は、感染状況や政府の方針により大きく異なる。措置継続が見られる一方（ケニア：外出禁止令継続）、ロックダウンの一部緩和（エチオピア、モザンビーク、ナイジェリア、ガーナ、ブルキナファソ）、国境及び国際線再開（マウイ、ルワンダ）など経済活動再開に向けた措置の緩和の動きが広がりつつある。
- 脆弱層を中心とした食料需要減退に対応するため、食料（Essential Food Commodities）に対する輸入税・関税撤廃（エチオピア）、食料の安価供給を目的とする政府買い上げ（マウイ）等の措置が講じられている。農業生産強化に向け、アグリビジネス向け融資上限の撤廃（ナイジェリア）の動きも見られる。（AGRA COVID-19 Situation Report #8 21 August, 2020）
- 国際食糧政策研究所（IFPRI）はアフリカ・アジア諸国のCOVID-19による影響に関するセミナーを開催。①ロックダウンにより各国ともGDPが大幅に低下（ミャンマー-41%、ナイジェリア-34%、スーダン-13.8%）、うち1/4はFood Systemに起因、②感染率や収入減少は都市のほうが大きいが農村地域は貧困が深刻化、③ロックダウンは必ずしも感染拡大防止に奏功しなかったと指摘の上で、④貧困層・脆弱層向けに細部まで行き届いたバランスの取れた対策が必要、⑤低所得国では限られた資源を有効活用したSocial Safety Net支援、雇用対策やSME支援が重要と指摘。（IFPRI Blog 26 August, 2020）

以上

¹ バルバドス、ブータン、ドミニカ、ガイアナ、モルディブ、ニューカレドニアの6か国のみ。

² 2/14日～8/28の価格変動率を示したもの。<https://datalab.review.fao.org/dailyprices.html#>

³ ボツワナ(19.2%)、コートジボワール(10.7%)、カメルーン(12.9%)、ジブチ(37.9%)、エリトリア(10.4%)、ガーナ(15.2%)、ガンビア(10.1%)、赤道ギニア(16.7%)、レソト(24.5%)、マダガスカル(17.8%)、マリ(16%)、モザンビーク(12.4%)、モーリタニア(24.1%)、マウイ(16.7%)、レユニオン(23.7%)、ルワンダ(18.2%)、スーダン(21.8%)、セネガル(12.7%)、エスワティニ(10.3%)、トーゴ(13.6%)、タンザニア(10.4%)、ウガンダ(14.9%)、ザンビア(26.1%)。南アジアはブータン(27.8%)、モルディブ(18.9%)のみ。他に注目すべき食料価格上昇はアルゼンチン(19.5%)、ベネズエラ(33.4%)、ミャンマー(29.6%)。

図1 Hunger Map 2020 (WFP)

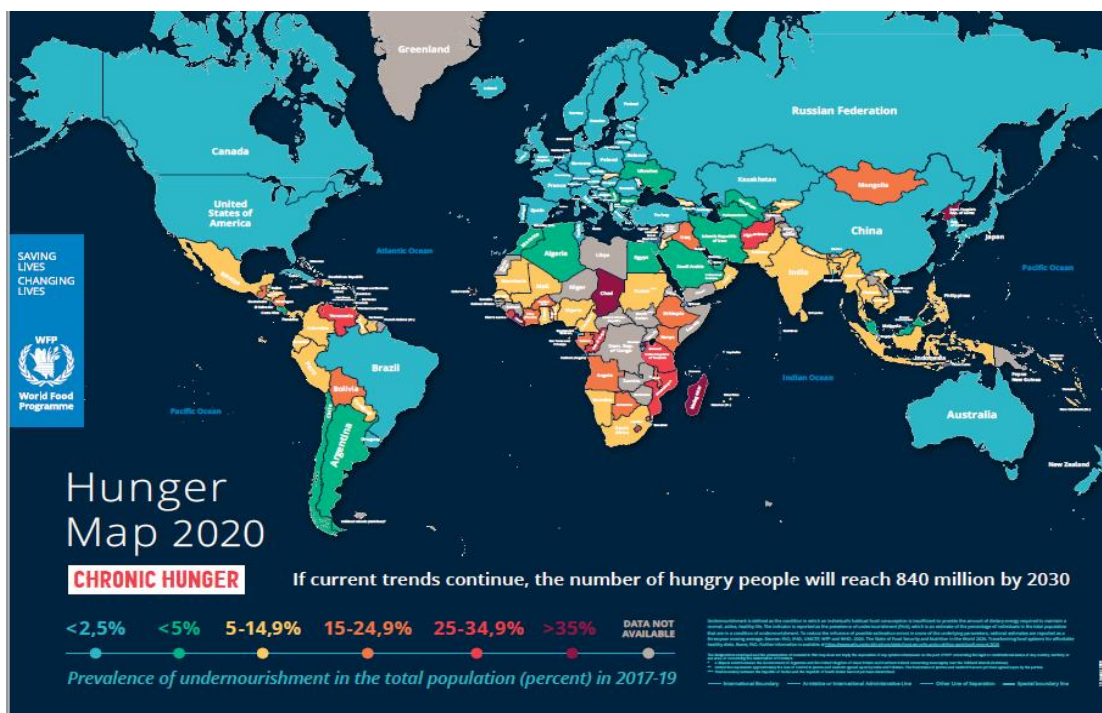
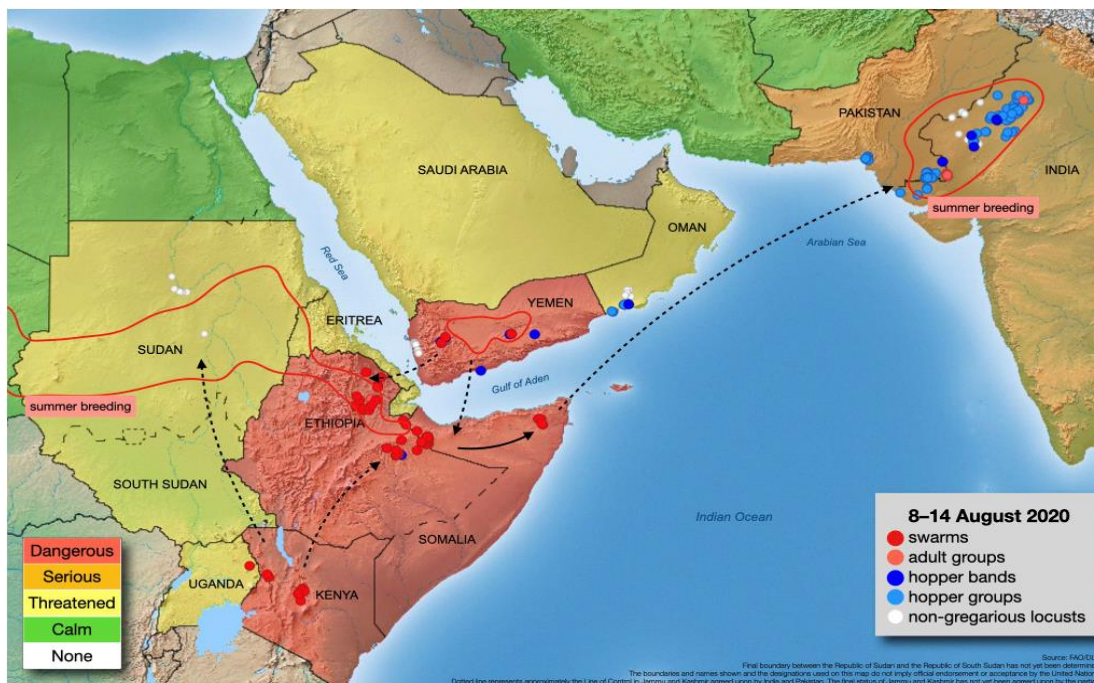


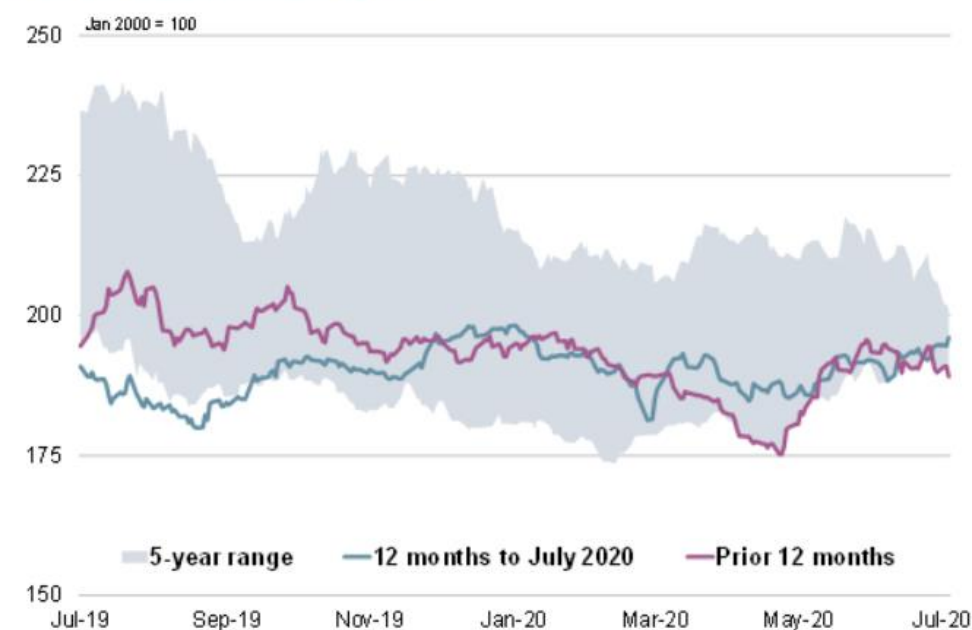
図2 サバクトビバッタ移動予想 (FAO Locust Watch)



<http://www.fao.org/ag/locusts/en/info/info/index.html>

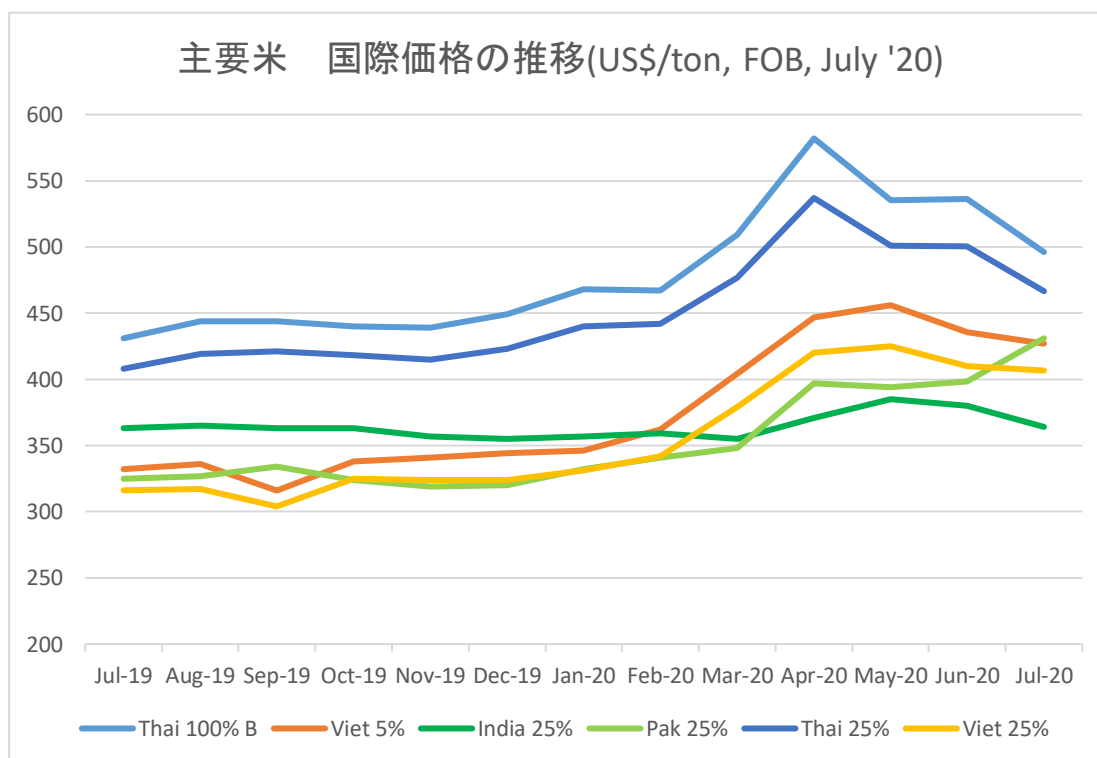
図3 穀物価格指数 (IGC Grain Market Report : 23 July 2020)

2. IGC Grains & Oilseeds Index (GOI)



(出典) https://www.igc.int/en/gmr_summary.aspx

図4 米（主要国）の国際価格の推移 (FAO Rice Price Update : August 2020)



<http://www.fao.org/economic/est/publications/rice-publications/the-fao-rice-price-update/en/>

図5 主要コモディティ価格指数の推移（エネルギー、金属・鉱物、農業）
 (World Bank Commodities Price Data : 04 August 2020)

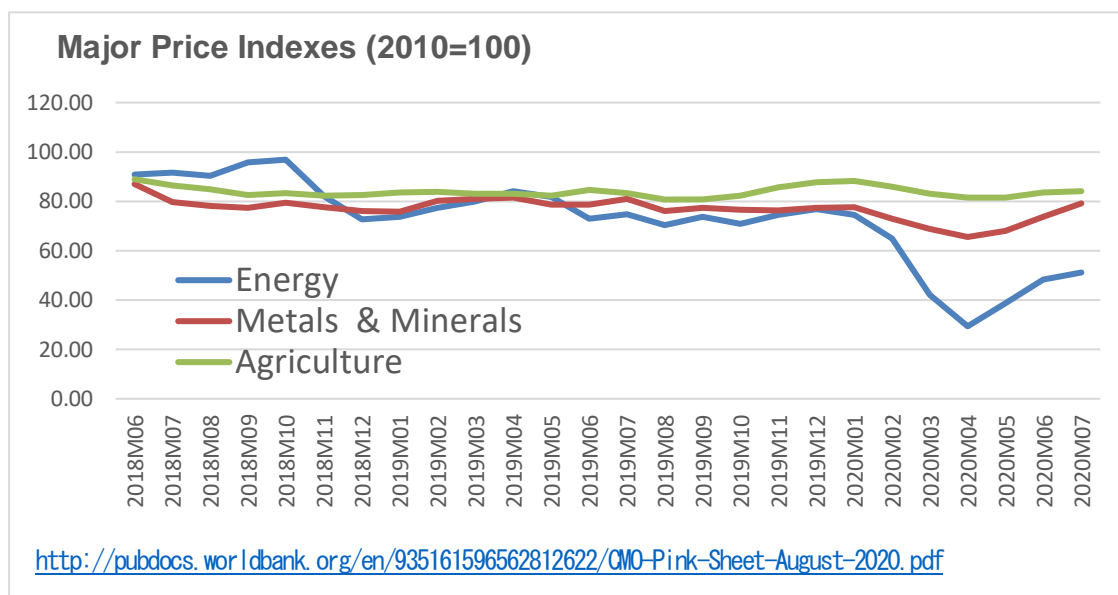
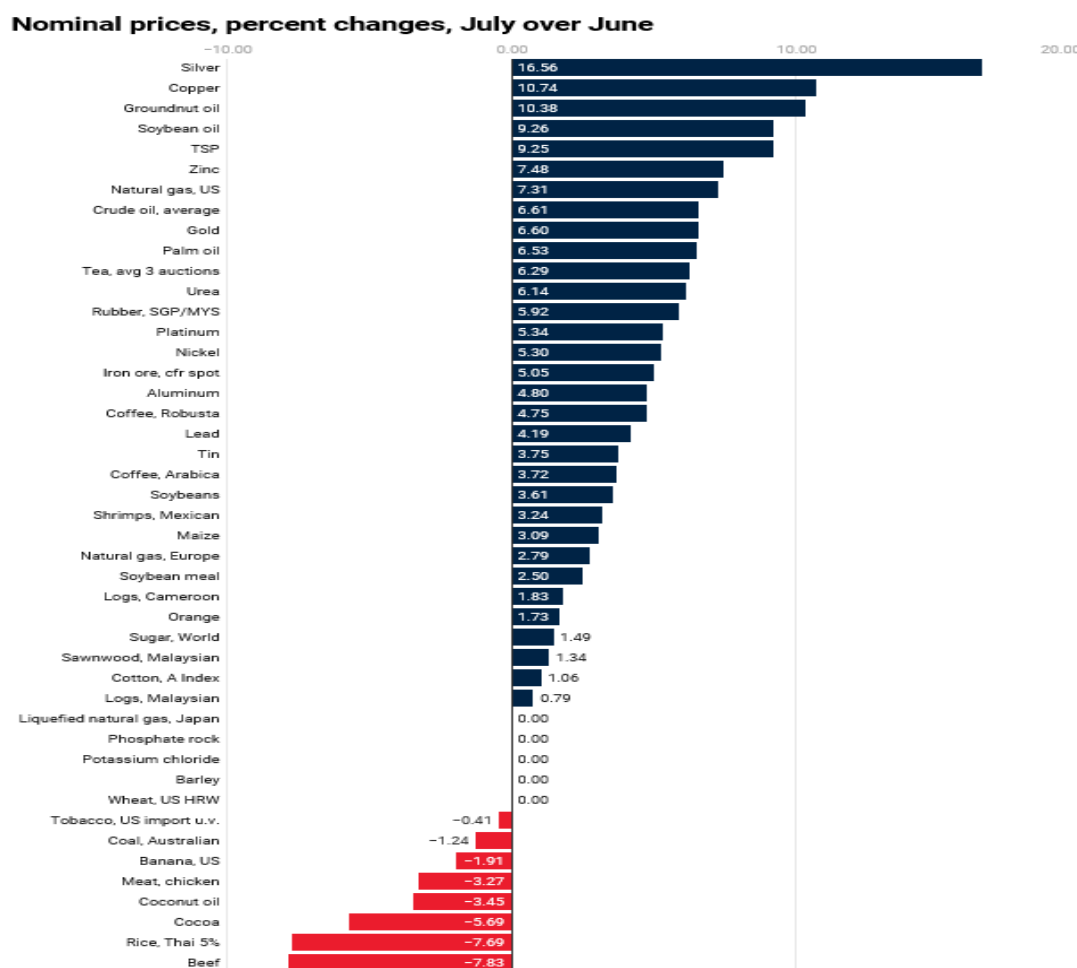


図6 コモディティ価格前月からの変動（World Bank Blog : 05 August 2020）



<https://blogs.worldbank.org/opendata/commodity-prices-posted-more-gains-july-pink-sheet>